



### 食がつなぐ人と人 食改員が事例学ぶ

食生活改善推進員協会（漆真下トヨ会長、会員76人）は7月8日、第1回研修会をグリーンテージで開催しました。

研修会では、公益財団法人味の素ファンデーションで被災地復興応援事業を担当する山田幹夫さんが講演。被災者の食生活や栄養面の支援として始めた料理教室が、いつしか人と人をつなぐ交流の場になった事例などを紹介しました。山田さんは「一緒に作って一緒に食べることは、地域のコミュニティの活性化につながる」と語り、参加者は真剣に耳を傾けていました。

講師の山田幹夫さん（円内）の話を熱心に聞く参加者

### サッカー町長杯開催 葛中イレブンが健闘

7月9日と10日、総合運動公園で第8回葛巻町長杯U-15サッカー大会（町サッカー協会主催）が開催され、葛巻中学校のほか周辺市町から6チームが出場し、熱戦を繰り広げました。

選手たちは、持ち味の粘り強い守備からリズムを作り、勢いそのままに得点するなど健闘。藤森大和さん（葛巻中2年）は「チームのみんなで声を掛け合ってプレーができた。相手に走り負けない体力づくりと選手間の連携を強化していきたい」と、今後の目標を語りました。

大会は、福岡中学校（二戸市）が優勝しました。



ボールを奪い合う葛巻中（白いユニフォーム）の選手



### 教職員が研修会 ICTを授業に

町教育委員会は6月23日、江刈小学校でICT（情報通信技術）活用授業づくり研修会を開催し、小中学校の教員11人が参加しました。

5、6年生の算数の授業では、田澤祐樹教諭が学習支援ツールを活用して立体図形の体積を求める授業を実践。参加者は、児童がタブレットを活用しながら課題を解決する様子を注意深く参観していました。学校教育アドバイザーの金澤卓司さんは「児童生徒がICTを活用する場を、毎日少しずつ授業に設けることが大切」と助言し、参加者は理解を深めていました。

タブレットを使って算数の問題に取り組む児童

### リトミック教室で 園児らの感性育む

6月24日、江刈保育園でリトミック教室が開催され、なかよし広場の子どもたちを含む13人が参加しました。

リトミックは音楽に合わせて体を動かし、楽しみながら感性や表現力を養うもので、0歳の乳幼児から始めることができます。この日は、音に合わせて体を動かす遊びや、講師の谷山実沙さんと小室好司さんによる、ピアノ演奏に合わせた絵本の読み聞かせなどが行われました。子どもたちは、普段とは違う音楽や絵本との触れ合いに興味津々の様子でした。



ピアノ演奏に合わせて体を動かす子どもたち



### 協力隊員の中島夫妻 接客の心構えを講義

6月27日と7月11日、第3セクターの職員を対象とした接客研修会が開催されました。

講師は、東京の有名ホテルの勤務経験を持ち、6月に夫婦で地域おこし協力隊に着任した中島孝さんと里子さんで、研修の1回目は里さんが接客の心構えを講義し、2回目は孝さんが料理の提供やワインの注ぎ方などサービスの実技を指導しました。孝さんは「お客様に安心して食事を楽しんでもらうためには安全が第一。焦らずに一呼吸置くことが大切」と話し、参加者はメモを取りながら熱心に聞いていました。

食器の扱い方を説明する講師の中島孝さん◎



### 安全安心の町にしたい 社会を明るくする運動

6月25日、町更生保護推進協議会主催の「社会を明るくする運動・人権擁護啓発活動」が、総合運動公園で行われました。

保護司をはじめ更生保護女性の会や人権擁護委員など関係者15名が参加し、青少年健全育成ミニサッカー大会に参加する親子に、犯罪や非行、いじめや差別のない社会について呼び掛けながら、うちわやティッシュを配りました。会員は「少しでも多くの人に我々の行っている活動を知ってもらいたい」と語り、活動の広がりを願っていました。

親子に非行やいじめの防止を呼びかける関係者の皆さん